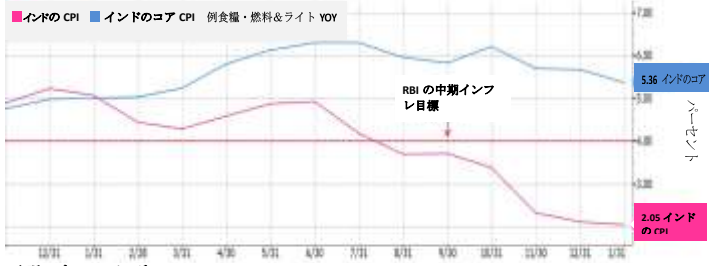


ハイライト

インフレーションがクール
コアインフレ率は軟化している。



出所:ブルームバーグ
INFLUENTY インデックス (インドCPI総合前年同期) 2月 - インフレ2017年 11月 27日 - 3 著作権©2019ブルームバーグファイナンス L.P. 2019年2月18日 19:52:32

インドのヘッドライン及びコアのインフレ率は収束するように設定され、それに減速中の経済活動は経済成長を支えるためのさらなる利下げの段階を設定している。6%前後の水準で維持しているコアのインフレ率は1月に5.4%に軟化した。19ヵ月ぶりに最低水準まで緩和したインドの小売インフレ率は、金利を引き下げるというRBIの決定を正当化します。2.05%で、小売インフレはRBIの中期目標の4%をかなり下回っています。中央銀行はヘッドラインのインフレ率が今後10ヶ月間の中期目標の範囲内に維持されると予測して、チャンスは2つの指標が収束する可能性があるということです。(出所:ブルームバーグ)

MPCは買戻し率の25ベーシスポイントを6.25%に引き下げて、そしてインフレの急激な減速をうけて10月に採用された「校正引き締め」から中立への政策スタンスを逆転しました。この利下げは2018年8月以来初めての利下げです。RBIのダス総裁は、このスタンスの変化がインフレが良性のままである限り今後数ヶ月にわたってインドの経済の持続的成長に対処するRBIの柔軟性や余地をもたらすと記者団に述べました。(出所:ブルームバーグ、RBI)

インドの最大商圏会社であるICICI証券株式会社によると、政府税制と不良債権政策の変更により今後3年間に年間10~15%の収益成長ペースを促進すると期待されています。最近の予算刺激策は消費を後押しする間に、機構改革は企業の貯蓄を増加し資本のコストを低下すると期待されています。12月を通す四半期の利益を報告しているほとんどのニフティ企業は、収益予想を上回っているか、それに一致しているため、収益の成長は克服しているようです。(出所:ブルームバーグ、ICICI証券株式会社)

RBIの監査により、昨会計年度に未公開の不良債権が見つからない結果でYes Bank Ltd.の株価は14年間で最も急上昇しました。明確な監査報告書は、銀行が普通株式Tier 1比率を補充するために資本市場にアプローチして元の成長モデルに戻ることを可能にします。Yes Bank Ltd.は伝統的にインドの銀行間に最も高いローン成長率の1つを報告しました。

昨年株価の急落を引き起こしたリーダーシップ危機から出てくると、RBIの資産の質に関する適意意見は銀行の救済を提供します。ドイツ銀行のインドフランチャイズを率いている新しいRBIの承認された最高経営責任者のラヴニート・シン氏は3月1日から引き継ぎます。(出所:ブルームバーグ)

スプレッドが広がる
10年物の利回りは横ばいになるが、短期債は回復する



出所:ブルームバーグ
A0584277 CorolIGB 7.17 01/08/28 2月 - 毎日の変更履歴チャート 13AUG2018-14FEB2 著作権©2019ブルームバーグファイナンス L.P. 18-Feb-2019 19:52:32

貿易業者は4月の会議が終わるとすぐに良性のインフレーションがRBIに再度金利を引き下げる原因を与えると予測して、インドの短い満期債がアウトパフォームに設定されているようです。政府の約1,000億ドルの債務売却計画および昨年に見られた現金危機繰り返しについての懸念も、長期債の魅力を損なっています。通常、3月の会計年度末にかけて行われる締め流動性への期待により、短満期債への需要は高くなります。(出所:ブルームバーグ)

モディ首相の政府が5月に投票する準備をしたときにインドの議会は2月13日に最終会議を終えました。インドの選挙管理委員会は今後数週間で投票のスケジュールを宣します。インドは8億7500万人もの人々が新政府に投票すると予想されている545席の連邦議会選挙を開催しなければなりません。議会の最終会期は、4月1日から始まる会計年度の間予算を通過するために招集されました。(出所:CNN)

重要な情報

この報告書は、株式単元のオファーを構成するものではなく、勧告または意見書または広告でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起こり得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、助言を求めるべきであります。

当社がお客様の投資問題を解決するうえでお役に立てる方法について詳しくお知りになりたい場合にはUTI資担当者にお問い合わせ頂くか、www.utifunds.com をご覧ください。